

令和2(2020)年6月10日

第5号

逗子市立逗子中学校

校長 関 忠子

# 校長室より

## 生徒の皆さんへ

7日間の午前・午後に分れての分散登校。生徒の皆さんにはいろいろと普通でない状況を強いて申し訳なかったのですが、よく頑張ってくれました。ありがとうございます。長い休校期間を経ての登校が日差しの強くなった午後からというのは、体力的にもきつかったと思います。それでも、帽子をかぶったり、それぞれが熱中症対策もしながら笑顔で登校してくれている様子には、私としても学校が再開できて良かったという安堵があります。

今日からは全員が朝から登校し、改めての学級開きがありました。2,3年生のクラスでは早速、係や委員会を決める賑やかな、かつ期待感あふれる声が響いていました。2ヶ月遅れですが、新しいクラスでの生活が本当に始まります。少しずつ、私たち逗子中学校の生活も軌道に載せていきましょう。一人ひとりが、自分のできることを考えて行動してくれると、日々の生活がスムーズに進んでいくと思います。しばらくは生活に制約もありますが、その中でも皆さんが力を発揮し、成長していってくれることを願っています。

## 保護者の皆様

休校期間中はもちろんのこと、分散登校期間につきましても様々にご協力いただき、ありがとうございます。メール配信も度々させていただきましたが、それに対応していただき、本当にスムーズに学校を再開することができました。生徒たちは登校時に朝の検温の報告をし、手を洗ってから教室に入るというルーティンを始業前に済ませるよう、余裕を持った登校をしてくれています。これもご家庭のご協力有ったのことに感謝申し上げます。京急を使っている生徒たちも、時間の余裕を持って、朝の3便ほどに上手に分散して乗車してくれています。

まだしばらくはマスクの着用や、検温、手洗い、密にならないような声かけを続けていくことにはなりますが、少しずつ普通の学校生活へ進んでいきたいと思っております。今週は基本的に特別教室は使用せず、自分のクラスの中だけで授業を受ける形で進めてきましたが、今後は徐々に特別教室での授業も始めます。30分の授業から50分授業に戻します。外での体育も始まります。暑さもあって、体力的に厳しく感じている生徒もいると感じておりますので、「少しずつ」進めることを職員間でも確認しております。どうぞ、お子様の様子でご心配なことがありましたら、担任や学年代表に何なりとご連絡ください。

## 皆さんはどう思い、考えますか？

今回の感染症に関しては、先が見えない、誰も確定的なことを言えない中で、学校も考え判断を下していかなければならないことがたくさんありました。その一つに休校中のグラウンドの使用と

という問題があります。これはある意味では些末な問題なのですが、皆さんにも考えていただきたく、書かせていただきます。

休校中、部活動はもちろん行っていませんが、近隣の方から、「休校中のはずなのに、部活をさせているのか」というお叱りのお電話をいただくことがありました。時々逗子中生もいましたが、卒業生や大人の方、大人の方が引き連れてきている小学生らしき子どもたちが、サッカー、野球、簡易ネットを立ててのバレーボール、テニスなど、様々にグラウンドを使用しているようでした。

職員室から見えにくいということもあって、すべてを把握しているわけではありません。お電話をいただいたときには声をかけさせていただいたというのが事実です。

逗子中学校のグラウンドは高い塀に囲まれているわけでもないのに、誰でも簡単に入ってこられます。これまでもきっと、使用している生徒がいなければ使用しても良いものと思われていたのかもしれない。

学校としてはどうするべきなのか。誰も入れないような高い塀を設置するべきなのか。緊急事態宣言が出て、行くところがない、運動する場所がない人が使用することぐらい、生徒が実際に学校に来ていないのだから目をつぶってもいいのではないか。

5月の後半に分散登校が始まりました。生徒の皆さんが登校している時間帯に、野球をしようとしているグループがグラウンドにいるのに気がつきました。さすがに、生徒のいる時間に部外者がグラウンドを使用するというのはいかがなものでしょうか。まだ緊急事態宣言下です。部外者が感染源をグラウンドに置いていったら、逗子中学校の安全は守れません。もちろんお帰りいただきました。

そして、6月1日に学校が再開しました。新聞でも世間的に知られていることです。感染症の心配をしながら登校してくる生徒もいます。その中で、このまま他所の方々（地域の方々？）がグラウンドを使用し続けることは危険性が高いと思い、最初の週末を前にお知らせを掲示することとしました。内容は皆さんも知っての通りの「6月1日より学校は再開しております。土日を含めてのグラウンドの使用はご遠慮ください。」というものです。入ってきそうな隙間や目につくところに数本立ててもらいました。

先週末、効果はあったのでしょうか。

6月6日（土）には数名の大人が子どもたちのグループを連れて、ラグビーの練習をさせていた状況があったと聞いています。皆さんはどう思われますか？

学校として一番に思ったことは「ご遠慮ください」という看板のそばで、それが目に入っているにも関わらず、大人が子どもにチームスポーツを指導していたことへの疑問です。ルールとは何か。マナーとは何か。スポーツ精神とは何か。そしてまだ感染症の心配があるという中で、自分たちが感染症にかかっていないという自信があれば学校の心配など関係ないのか。或いは、心配する方がおかしいのか。はたまた、ご遠慮くださいの真意は伝わらなかったのか。子どもだけが自分たちの判断で使用した場合、大人だけで使用した場合とは異なり、大人がこの看板の下で子どもたちに練習をさせたことに違和感があります。それも、教育の場で。因みに市の施設も感染症対策をしつつ、徐々に開館、開場していくというこの時期に、ということです。

今後、授業が正常に戻ったところで部活動も少しずつ活動を始めることとなります。学校は生徒の安全を考えて進めていきますが、このグラウンド問題を皆さんはどのように考えますか？